

# 議会だより

No.116 平成22年9月定例会 10月15日発行

議会ホームページアドレス <http://www.city.nanyo.yamagata.jp/webs/gikai/>

## 主な内容

- 9月定例会…………… 2～3
- 予算特別委員会…… 3～4
- 決算特別委員会……… 5
- 一般質問…………… 6～8
- 常任委員会審査報告… 9～10
- 委員会行政視察報告… 11～12
- 置広議会臨時会報告… 13
- 議員研修会…………… 13
- 沖中とのソフトボール親善試合… 14
- 請願審査結果表・編集後記… 14



## 「一球一点 ワンプレイの大事さ」

赤湯野球スポーツ少年団は今年で27年目を迎えました。現在2年生から6年生まで総勢33名の団員が、自分たちの「夢」に向かって、週3回の練習を行っています。昨年は米沢地区で優勝し県大会に出場しています。

また、団活動の一環としてのレクリエーションでは、「赤湯ふるさと祭り綱引き大会」へ参加し、今年も優勝し3年連続優勝を果たしています。

団員には「一球一点ワンプレイの大事さ」と「最後まであきらめない強い気持ち」を養ってもらえるよう、今後の活動も頑張っていきたいと思えます。

元気にがんばる子どもたち(18) 赤湯野球スポーツ少年団

## 9月定例会

9月定例会は3日から21日までの19日間の会期で開かれました。市長から議案の説明があり、提案された議案は、承認1件、報告1件、条例・その他9件（内、条例1件は継続審査となりました。）補正予算8件、決算認定案11件で原案のとおり可決されました。

また最終日には追加議案として同意案3件、議員発議2件が提案され、それぞれ原案のとおり可決されました。

一般質問は6議員が行い市当局の考えを質しました。

### ◆承認◆

○平成22年度南陽市一般会計補正予算（第2号）についての専決処分の承認を求めることについて

### ◆報告◆

○平成21年度南陽市健全化判断比率の報告について

### ◆条例・その他◆

○財産の取得について

防災拠点施設用地として市土地開発公社から5,419.07平方メートルの土地を取得するもの

○南陽市学校給食センター設置条例の設定について

○南陽市公民館条例等の一部を改正する条例の設定について

○南陽市税条例の一部を改正する条例の設定について

○南陽市赤湯財産区温泉条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市道路線の廃止について

① 中川竹原1号線（元中山）

② 中川中学校北線（元中山）

③ 中川中学校南線（元中山）

④ 中川小学校南線（川樋）

⑤ 平岩線（川樋）

⑥ 川樋北山線（川樋）

⑦ 川樋高野線（川樋）

○南陽市道の認定について

① 中川竹原1号線（元中山）

② 中川小学校南線（川樋）

③ 平岩線（川樋）

④ 川樋北山線（川樋）

⑤ 川樋高野線（川樋）

⑥ 中川側道1号線（川樋）

⑦ 中川側道2号線（川樋）

⑧ 元中山1号線（元中山）

⑨ 元中山2号線（元中山）

⑩ 元中山3号線（元中山）

## 予算特別委員会報告

○平成22年度南陽市一般会計補正予算（第3号）

○平成22年度南陽市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

○平成22年度南陽市財産区特別会計補正予算（第1号）

○平成22年度南陽市小滝簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

○平成22年度南陽市介護保険特別会計補正予算（第2号）

○平成22年度南陽市出産祝事業特別会計補正予算（第1号）

○平成22年度南陽市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

○平成22年度南陽市下水道事業会計補正予算（第2号）

## 決算特別委員会報告

○平成21年度南陽市一般会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度南陽市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度南陽市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度南陽市小滝簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度南陽市育英事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度南陽市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度南陽市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度南陽市出産祝事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度南陽市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成21年度南陽市下水道事業会計決算の認定について



○地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について  
 ○米価の大暴落に歯止めをかけるための対策を求める意見書の提出について

### 議員発議

○南陽市教育委員会委員の任命について  
 ・任期満了に伴う任命  
 加藤正人(新) 柗塚二二四〇の二  
 ・辞職に伴う任命  
 猪野 忠(新) 俎柳九四〇  
 ○南陽市監査委員の選任について  
 任期満了に伴う選任  
 青木 勲(再) 郡山五四二の九

▲同意▼

### 追加議案

## 9月定例会 補正予算の概要

補正予算額 **2億2,350万5千円**

( 一般財源 2億167万円 )  
 ( 特定財源 2,183万5千円 )

平成22年度一般会計総額 **132億103万5千円**に

(単位：千円)

1) 庁舎修繕料	1,454	主な補正項目	9) 森林交流センター設計委託料	1,600
2) 財政調整基金積立金	110,000		10) 林業従事者育成確保 対策実証事業委託料	1,500
3) 減債基金積立金	30,000		11) プレミアム付商品券発行事業補助金	10,000
4) 地域介護・福祉空間整備交付金	5,697		12) 菊まつり会場改修工事	1,000
5) 地域子育て創生事業費	18,700		13) 道路橋梁等維持補修事業費	10,500
6) 双葉会特別保育事業補助金	12,358		14) 市営桜木住宅駐車場舗装整備工事	2,100
7) 児童扶養手当	8,958		15) 夕鶴の里修繕料	1,426
8) 畜産規模拡大支援事業費補助金	1,406			

### 予算特別委員会による質疑

9月15日予算特別委員会が開催され、農業振興や環境問題等に関する多くの活発な質問が出されました。  
 なお、主な質疑内容については次のとおりです。

#### 一般会計

##### ◎農林水産業費

〈議員〉「イオンの森づくり」について。桜の植樹の間かくが近すぎはしないのか、また道路から1.5m程しか離れていない。大きくなった場合大丈夫なのか。900本植樹を3年間で行うと聞いているが、その後の維持管理はどこで行うのか。

〈課長〉10月2日の植樹に向け、十分一山現地の伐採作業も済み、300本の植樹場所に目印となるリボンをつけた棒を立てている。山桜の木なので上に伸びるので横の間かくは問題はないと思う。900本植樹予定の内、山桜は今年度のみで来年以降は広葉樹を植え

る。3年間はイオン側で植樹し、その後の維持管理は市に移譲となる。

〈議員〉米価概算金の下落が叫ばれているが市の対応は。

〈課長〉国の戸別所得補償制度を確認の上、利用していく。

〈市長〉農政全般に渡って厳しい状況にあり、各自治体の対応で解決できるものではない。県と一緒に連携して国に対し要望運動を進めていく。

〈議員〉米の消費拡大も難しい中でその後継者不足はあたりまえ。今後の新たな農業のあり方は。

〈課長〉付加価値の高い農業生産に取り組み、農業者一人当たり年収400万円の所得目標に向け頑張っていく。



〈議員〉畜産規模拡大への補助金が出ていますが、悪臭問題への指導はなされているのか。

〈課長〉苦情相談は年に数件、今年度も夏場に1件で、悪臭には個人差があり、なかなか対応が難しい。

### ◎企画費

〈議員〉今年度県に提出した重要要望事項の進捗状況は。特に、中里工区の整備促進及び赤湯停車場大橋線の歩道設置要望について。

〈課長〉今まで以上の予算がついて対応するような進捗になっており、ほぼ要望が通ったのかなと思う。来年度以降も継続して要望していきたいと考えている。

### ◎民生費

〈議員〉この夏の猛暑には、エアコンのない施設の子ども達も大変だったし、先生方も熱中症予防に大変苦労された。地域子育て創生事業を活用し、保育園や学校などへのエアコン設備投資はできないのか。

〈課長〉この事業は県の基金の活用で、感染症対策関連部分等への補助が相当であり、エアコン設備

等への助成は今後国・県とも協議して進めていきたい。

### ◎商工費

〈議員〉ハイジアパーク問題の訴訟から和解に至る経過を問う。

〈副市長〉元総支配人が不当解雇を受けたとし復職を求めたのに対し、前社長は資金流用していたとする文書配布により信用を傷つけられたとして損害賠償を求め同時に争っていた裁判で、裁判の長期化を避け、労働審判を優先し200万円の退職金を支払い、元総支配人が前社長への名誉を棄損したことを謝罪することで和解したものである。

### ◎教育費

〈議員〉学校統合により生徒数も増え、各中学校の細かい備品等は充足しているのか。

〈課長〉教育環境の整備に関しては充分な配慮をしているつもりであるが、消耗品等については足りないものもあり、学校現場の声聞きながら対応していきたい。



## 特別会計

### 国民健康保険

〈議員〉今般、厚労省から出された国保の患者負担を減額免除する制度の内容はいかなるものか。

〈課長〉経済環境の変化により所得が大きく減額した方に対し国庫補助をするものであるが、詳細についての通達がまだなされておらず明確な内容は判らない。

### 財産区

〈議員〉金山財産区費に立木売払収入5万7千円とあるが、これは何石に値するのか。

〈課長〉金山鬼面石北側の場所で、1反歩当たり24石とみているので約136石、ナラ材1反歩1万円で契約していたものである。

## 上下水道事業

〈議員〉下水道が整備なったところでの利用率は。

〈課長〉現在の水洗化率は77.1%であり、持家住宅リフォーム5%補助など有利な融資制度を活用し、水洗化率を高めていくよう市民に働きかけをしていく。

平成21年度  
 一般会計 決算を賛成多数で認定  
 特別会計 上下水道事業会計  
 決算認定

(一般会計)

歳入 132億1,165万2千円  
 歳出 125億9,912万0千円

決算特別委員会



副委員長  
白鳥 雅巳



委員長  
板垣 致江子

決算特別委員会による質疑

9月15日決算特別委員会が開催され、平成21年度一般会計、特別会計決算及び水道事業、下水道事業会計決算に対して審査を行い、付託された11件の決算すべて原案のとおり認定されました。

一般会計

〈議員〉全体の地方債残高はどうなっているのか。

〈企画財政課長〉一般会計の地方債残高は155億969万1千円、水道事業の地方債残高は22億2千万円、下水道事業の地方債残高は123億4千万円となっている。

〈議員〉地方債残高も300億を超えている現状で、今後の見通しをどのように考えているか。

〈企画財政課長〉これから学校関係の起債の借り入れも始まり、年度末の起債残高の見込み額も174億2千3万5千円と増えることで、年次計画の中で繰上げ償還の積極的な財源を組み、実質公債比率が25%を超えないよう努めています。なお、起債の中には交付税で算定される臨時財政対策債などの41億円も含まれている。

特別会計

◎育英事業

〈議員〉現在の状況は。

〈学校管理課長〉平成21年度22名貸し付け、内新規9名、平成22年度24名貸し付け、内新規9名となっている。

〈議員〉今後の見通しは。

〈学校管理課長〉年度によって多少のばらつきはあるが、厳しい経済状況の中、育英資金を学費の足しにして学ぶ人が増えてきている。

〈議員〉返済の状況は。

〈学校管理課長〉現在、滞納者が5名おり、返済計画の再考を促すあるいは連帯保証人に弁済を勧告するなどして返済に努めていただけである。資金借入れ本人の自覚が足りないことなどもあり、借り入れ時の要項の中に本人面接を取り入れている。

上下水道事業

〈議員〉下水道事業は125億円の負債を抱えているが、どのような方法で返済していくのか。

〈上下水道課長〉下水道起債の中で一番利率の高いものでは、政府資金の5.2%、農集排起債では最高6.6%である。昨年度、利率が5%以上のものに対して、概ね低利率のものに借り換えをした。農集排についても、今年度低利率のものに借り換え対応をとる。

〈議員〉上下水道合わせて140数億の負債ということは、市民一人当たり87万円の借金を背負っていることと同じ。国・県の借金も含めると莫大な借金となる。これをどのように捉えるか。

〈代表監査〉一人当たりいくら借金を抱えていると情報を流したところで、一人ひとりが返済できるものでもない。市行政として先ずは効率の良い借り入れ金、そして返済等順次計画していただくのが最善と考える。

## 市政に対する議員の 一般質問と答弁要旨



市民福祉、農林業の振興  
広報広聴の実状について

高橋 弘 議員

◎本市の子育て、少子化対策について。

〈市長〉平成19年6月に「南陽市子育て支援都市」宣言の議決を得て、ハード、ソフトの各種施策を展開している。子育て応援団地、新たな住宅取得制度の創設など、具体的施策を検討している。

◎0歳児の入所状況、及び児童の通学路の状況について。

〈市長〉宮内乳幼児保育センター、赤湯乳幼児保育センターの2カ所設置されており、公設民営の保育所として運営している。今年度、母親の就労等の理由で、0歳児や1歳児の入所希望が多く、両センターで、20件余の入所待ちの状況

である。

通学路の状況は、例年各小中学校で通学路の安全点検を行い、特に危険が予想される箇所は、道路管理者や関係機関等に改善の要望を行っている。

◎各市町村のコマーシャル制作に対する南陽の対策は。

〈市長〉本市はこれまで色々の賞を受賞しているが、ここ5年間は受賞の実績がない。南陽市を県内外に発信する媒体のひとつとして、入賞を目指し取り組んでいる。

◎鳥獣害防止策について。

〈市長〉ニホンカモシカは現在頭数が増え被害が増加している。鳥獣害防止総合対策事業を活用し、園地の防衛に努めたい。



ニホンカモシカ



東北中央自動車道  
について

川合 猛 議員

◎十分一山の麓に計画されている南陽パーキングエリアでの地場農産物の販売について。

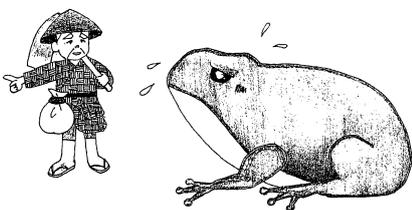
〈市長〉ネクスコ東北支社管内の無人休憩施設では物販の実績はないとのことだが、ネクスコ北海道支社管内で観光PRを主目的として物販をおこなっており、今後前例が積み重なればパーキングエリア内での取り組みは可能との見解でした。このため、南陽パーキングエリアでは、側道から出入りできる管理用通路が設けられる計画であることから、観光PRや物販に使用できるよう、要望をしているところです。

◎ビッキ石は中川の民話の題材ともなっており、中川小の児童達が民話を語りついでおります。このまま道路下に埋めてしまったので

は余りにも忍びなく何としても保存をお願いしたい。

〈市長〉ビッキ石の保存については、市の文化財などに指定されているものではないが、地元でも語り継がれている民話が残っているなど、中川地区では有名な巨石であります。

このビッキ石がある地点は、南陽パーキングエリアから150メートルほど離れた自動車道計画地のほぼ中心部に位置しており、移設には多額の費用を要することや史跡でないため、本来の取り扱いは、小割にして高速道路の盛土材として敷きつめるとの事です。しかしながら、これまで再三にわたる地元からの保存に向けた要望を踏まえ、市の負担を伴わずに保存する方向で、現在検討しているところだと思います。



中川に伝わる民話



塩田市政二期目の公約と重点政策は

佐藤 明 議員

◎塩田市政二期目の公約と重点政策は。

〈市長〉二期目においては「明るく活力に満ちた信頼される市政」を目指して、「日本一の教育」をはじめとする8項目のマニフェストを掲げたところである。その実現に向け、現在策定中の南陽市第5次総合計画の調整を図り実行して参りたい。

◎4年前の選挙では、市長の報酬と退職金は半額にする事を公約に掲げ当選されましたが、二期目はどのようにされるのか。

〈市長〉一期目は「特別職の条例の改正」を議決いただいたが、平成22年7月29日までの時限付きの改正だった。二期目については、報酬の減額は考えていない。

◎前は「条例の改正」で提案されており、今回も正々堂々と提案すべきではなかったのか。

〈市長〉附則により施行期日を時限付の改正という提案であり、ご理解を賜りたい。

◎いま、急激な円高、株安の進行によって景気が減速し、中小企業、地場産業をはじめ日本経済全体が悲鳴をあげている。総務省が発表した労働力調査でも、7月の完全失業率は5.2%で5カ月連続して5%をこえる深刻な状況が続いている。南陽市においては、推定失業者が600数十人いるといわれており、その対策が緊急の課題となっているが、その対策は。

〈市長〉昨年度より国の雇用対策の一環である「ふるさと雇用再生特別交付金事業」及び「緊急雇用事業」を実施している。また、来年度から高島町、川西町と広域の地域指定を受けて事業に取り組むべく準備を進めている。

さらに「米沢公共職業安定所」等の関係機関、団体と連携を図りながら就労支援対策を講じて参りたい。



スポーツ文化課の役割と学校林の整備体制を求む!

片平志朗 議員

◎各スポーツ団体との連携をどのようにしていくのか。

〈市長〉体育協会については平成21年4月に市内体育施設の指定管理を行っており、スポーツ振興の拠点として位置付けている。スポーツ少年団については、指導者派遣や大会支援等で連携を図っている。総合型地域スポーツクラブについては、多様目、多世代、技術レベルの3つの多様性を活かしてスポーツ少年団との連携を期待している。多種団体とスポーツ文化課が積極的に関わりを持ちながらともに生涯スポーツの振興を推進していく。

◎旧吉野中学校学校林の間伐問題は、その後どうなったのか。

〈教育長〉現在、南陽警察署で捜査中であり、また被害があるのは



市民カローリング大会

事実であるので、その結果を踏まえて今後の対応を検討していく。

◎今後の学校林の整備と活用についてどのようにしていくのか。

〈教育長〉近年は、森林や木材産業を取り巻く社会状況の変化により、生きた教材としての役割がクローズアップされており、環境教育や心を豊かにするための体験活動の場、地域の方々との連携を深める場として、有効に活用が図られるよう検討していく。

◎学校林に関する市の条例は現状に則しているのか。

〈教育長〉現在、南陽市学校基金の設置、管理及び処分に関する条例により施行している。今後検討していく。



円高での本市企業の影響及び子育て支援の今後の計画は

白鳥雅巳 議員

◎無投票当選における市長の認識と二期目に向けた最重要項目は。

〈市長〉これまでの4年間の市政運営が市民の皆様から支持をいただいた結果であり、責任は重く、これまで以上に努力と精進が必要と決意を新たにしたいところである。さらに質の高い市民サービスの実現を目標に据えた第二次行政改革を進めながら、現在策定中の南陽市第5次総合計画の実行を基本としたい。

◎円高により本市の企業が受ける影響について。

〈市長〉市内には自動車関連等の多くの製造業があるが、円高が進行了した場合、企業収益の悪化など悪影響を及ぼしかねないと懸念している。商工会と合同による企業訪問を実施し、状況把握に努め、

最善の支援をしていく。

◎待機児童問題について、子育て宣言都市としての今後の計画は。

〈市長〉需要増大に対応する保育所の増設等には多大な経費を要するので、今後の動向を見極め対応していく。

◎児童虐待を受けていると思われる状況や、その様な報告はあるのか。

〈市長〉虐待に関する通告が皆無というわけでなく、その都度、関係機関からの情報収集や、民生児童委員の協力を得ながら現場確認等の対応を取っている。児童虐待は、対応の面でも大変難しい点もあるが、地域全体で関心を持って、早期発見や防止するための体制づくりに努めていくことが重要と考えている。

◎火災報知器の設置状況は。

〈市長〉設置普及率は、山形県で40%、南陽市では52.2%となっている。

なお、来年5月末の設置義務化に向けて、さらなる普及を目指していく。



学校給食と地域で高齢者を支える手立てについて

吉田美枝 議員

◎改築整備中の宮内中に併設される市学校給食センターの業務体勢及び運搬業務について。

〈市長〉本定例会に、南陽市学校給食センター設置条例を提案。安全で安心な最新式の設備環境のもと適正かつ円滑な運営を図るため、市職員による直営方式で業務に当たっていく。

◎学校管理課長 運搬は学校技能士6人が交代で、3トトラック2台で2回に分け、市内6小中学校に配送する方向で検討している。

◎学校給食と地産地消の取り組みについて。

〈市長〉南陽市給食特定野菜推進委員会を設立し、一定量の確保や年間を通しての安定供給を図るため、特に6品目の野菜を特定して契約栽培をするなど、地産地消の

推進に全力で取り組んでいきたい。  
◎買い物支援を必要とする高齢者等の把握について。

〈市長〉現時点では買い物支援に関する需要等の調査はしていないが、今年度実施予定の介護保険事業の高齢者ニーズ調査に、この件を含めたアンケートを実施することは可能であるので検討していきたい。

◎今後の市としての買い物支援の具体的手立ての構想は。

〈市長〉県で勤めている共同宅配や御用聞き事業なども参考にしながら、現在策定中の南陽市第5次総合計画の中で検討していきたい。  
◎市民バスの通行圏域外の高齢者の足の確保について。

〈市長〉市内の交通需要や事業採算性等を含めた継続の課題で、交通空白地域のこととは何とかしたいと考えている。



市民バス

# 常任委員会審査報告

## 総務常任委員会

◎南陽市税条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、本年10月1日からハイジアパーク南陽の利用者には入湯税を課さないこととするため、(旧自治省の運用通達により、概ね1,000円以下については入湯税を免除してもよい。)条例の一部を改正するものであり、委員から指定管理料等の意見があり、当局から予算上指定管理料としての支出はなく、本年は指定管理の最終年度に検討したいとの説明があり、審査の結果当局の説明を了とし、全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市赤湯財産区温泉条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、内湯旅館業者からの温泉供給量増量の申請に基づき温泉供給量を変更するため条例の一部を改正するものであり、審査の

結果当局の説明を了とし、全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は法令の改正に伴い固体酸化型燃料電池による発電設備を対象火気設備へ加えること。及び個室型店舗の避難通路の確保のため条例の一部を改正するものであり、審査の結果当局の説明を了とし全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎請願第5号、地方財政の充実・強化を求める請願

本請願は、平成23年度の地方財政予算において、本年度の予算規模を継続的に取り入れることや、大胆な予算措置を行う等、国に対し意見書を求めるもので、審査の結果、願意妥当と認め全員異議なく採択としました。

(委員長 高橋 篤)

## 文教厚生常任委員会

◎南陽市学校給食センター設置条例の設定について。

本案は、南陽市小学校及び中学校の学校給食のため、その調理等の業務を一括処理する施設として南陽市学校給食センターを設置するものであります。

当局から、宮内中学校改築整備工事で実施している新築中の給食施設における施設整備後の維持管理業務、調理業務、衛生管理及び安全管理等に万全を期すための提案とのこと。又、管理運営は市職員による直営方式、栄養士は県から配置の職員、調理業務は現在配置の沖小、梨小、漆小の調理技能士が行う。運搬業務は、学校技能士に要請している。運搬車両は、3t車2台を予定し、1台で2回搬送予定している。来年4月から6校分約1800食調理する等説明を受けました。

委員から、自校方式からセンター方式に急展回した理由、保護者等への説明は充分か、段階的にすべきでは、地産地消の取り組み

について多数の意見が出され、当局より全校格差のない給食を目指し、各校に15分以内の配送目標、アレルギー食も対応可能、地産地消費率も高くなる等の説明を受けました。市民等への説明不足で性急に決めるのは反対との意見が出されましたが、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

◎南陽市公民館条例等の一部を改正する条例の設定について。

本案は、梨郷公民館を旧梨郷中学校跡地に新築移転することに伴い、関係条例を整備するものであり全員異議なく原案どおり可決しました。

(委員長 田中 貞一)



梨郷公民館安全祈願祭

## 産業建設常任委員会

◎ハイジアパーク南陽設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、ハイジアパーク南陽について、利用料金を改定するため条例の一部を改正するもので、当局より、平成21年12月25日から1年間の期間限定で300円に大幅値下げを実施し好評を得てきた。今後市民の保養、健康増進施設としての役割を明確にし、更なる利用者への拡大を図ることを目的とするとの説明がありました。

委員より、まだ1年経過しておらず、今後も赤字が見込まれるようなら市民の負担も増すことになる。また、休日の利用料金の設定についても検討する必要があるのではないかと、今回の条例改正は時期尚早などの意見が出され、審査の結果、全員異議なく継続審査となりました。

◎南陽市道路線の廃止について。

◎南陽市道路線の認定について。

本案は一般国道13号上山バイパス事業の整備に伴い、現市道の起

点、終点の変更になることから市道7路線を一旦廃止するものです。認定については、廃止した路線

のほか、一般国道13号上山バイパス事業で整備された側道を国土交通省から移管されることにより、新設、再編し認定するものと、中川中学校が閉校となったため、中川中学校北線と中川中学校南線の名称をそれぞれ元中山1号線と元中山2号線に変更するとともに、起点、終点を変更するものです。現地調査を行い慎重に審査した結果、当局の説明を了とし、全員異議なく原案のとおり可決いたしました。

◎米価の大暴落に歯止めをかけるための請願について。

本請願は、米価の安定、回復のためには、年産にかかわらず過剰米の買入れをすることが重要とし、国に対し意見書提出を求めるものです。

当局より、米の市場相場は下がったままであることや、約40万トンの過剰米が見込まれること、また、米戸別補償モデル事業の概要と、変動部分の現在の予算措置

が1俵あたり1,200円しか計上されていないことなどについて説明を受けました。

委員から、9月に入ってからの大雨などで収量も減り、価格も大幅に下がっている状況を見ると、国により何らかの対策を講じるべきとの意見があり、審査の結果、願意妥当と認め全員異議なく採決とし、国に対し意見書を提出することとしました。

(委員長 板垣致江子)



国道13号バイパス

## 議会を傍聴してみませんか!!

原則として中学生以上の人であればどなたでも議会を傍聴することができます。

次回の定例会は12月に招集される予定です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

(TEL) 40-3211

内線303

市民の皆様の傍聴をお待ちしております。



## 常任委員会行政視察報告

### 総務常任委員会

8月2日から4日の日程で山口県山口市にある大規模通所介護施設「夢のみずうみ村」、山口県長門市に行政視察を行いました。

夢のみずうみ村は、現在100人を超える人が遠くは新幹線を使い3時間以上もかけ通所しているかたもあり、施設は大盛況でありました。施設はすべて通所者が毎日自己選択、自己決定で過ごしバリアフリーでなく「バリアフリー」で施設の中でバリアを乗り越えることが、リハビリにつながる訓練であり、施設内にたくさんのリハビリを楽しい仕掛けがありました。たとえば2階に上がるには約30度の階段や、スポーツジムを思わせるような器具もあり私達も大変驚いてきました。また施設内だけで通用する独自の通貨「ユーメ」を発行し、なかでもカジノ等もあり通所者が勝って喜び、負けて悔しがるなど、このことだけでも一

般的なデイサービスイメージを大きく変えるものと、委員全員大変驚いてきました。

長門市視察では、「農業活性化、水産業活性化、観光活性化」を指し、農産物直売所の整備や水産物の加工場、冷凍保管庫の整備、観光事業の再構築を柱にまちを元気にしていくと説明を受けました。市民と行政当局一緒に取り組んでいる姿がうかがえました。

(委員長 高橋 篤)



### 文教厚生常任委員会

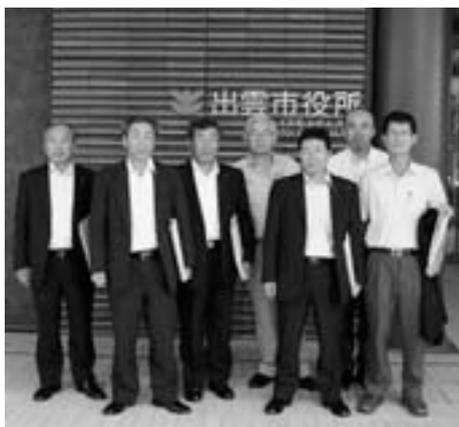
8月2日から4日まで島根県出雲市と鳥取県倉吉市の視察研修を行いました。

出雲市では、21世紀スポーツのまちづくり条例を中心に研修しました。今年4月から本市にスポーツ文化課が新設されたことから、熱を帯びての研修となりました。文化スポーツ課の説明を受ける中で、条例は、平成18年6月制定。同時期にスポーツ振興計画を策定。基本目標として、まちづくり、ひとづくり、ネットワークづくりを3本の柱としていること。条例のねらいは、まちづくりの基本を定める。人材育成、協力関係を明文化した条例はめずらしいものでありました。スポーツとまちづくりへの並々ならぬ意気込みを感じました。

倉吉市では、若者定住化促進プロジェクトを子育て支援施策を調査いたしました。第16次統合計画で10年後に向け40の施策を設置、その一番に若者定住促進を掲げていた。次に子育て支援の充実、雇

用の確保等であった。調査の中で、若者定住新築住宅の固定資産税3年間減免。その率は、国の制度で3年間1/2、市で1/2で、実質3年間は固定資産税0円のこと。また、21年中に44件の減免があり、県外転入3件、市外6件、残りは市内在住の方との説明を受けた。宅地造成は民間が行っているとの事であった。また、若者の婚活事業（レッツ婚活）を昨年からスタート。結婚することが生活基盤の安定につながる事から出会うの場を提供、120名定員に170名以上の応募があったとの事からその詳細についても調査してまいりました。

(委員長 田中 貞一)



## 産業建設常任委員会

7月12日から14日までの日程で北海道洞爺湖町「地場産品を使った新商品開発、情報発信プロジェクト」について、室蘭市の「環境産業拠点都市形成事業」「PCB廃棄物処理施設」についてを視察研修してまいりました。

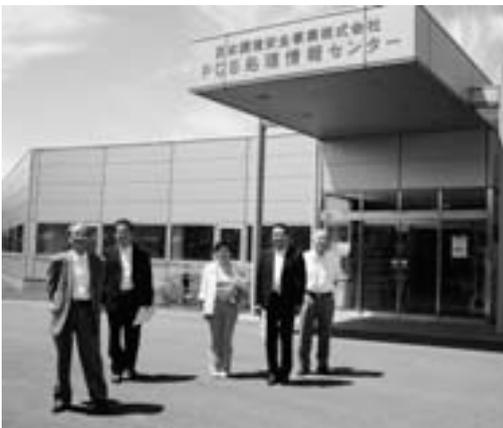
洞爺湖町は10年前の有珠山噴火から復興、一昨年はサミットで脚光をあびた。観光の町ではあるが農産物、水産物が豊富で、地場産品を使った産品を生産者が自主的に開発し地域ブランドを確立。

町内二つの道の駅「あぶた」と「とうや湖」では地場産品だけの販売にこだわり地場のもので作ったメニューも食堂で提供し、生産者の経営安定を図っている。経営は法人を設立。行政や補助金に頼るのではなく、生産者自らアイデアを出し行動、協力・競争しながら運営している。売上が直接生産者に入る（年間500万円以上）ので生産者の士気も高まるとのこと。「ものづくりのマチ」と称される室蘭市では「室蘭地域環境産業拠

点形成実施計画」を平成15年策定。家電リサイクル法やPCB処理法などの関係する法律もでき、循環型社会を目指し、持続的、発展的な行政主体でなく企業が独自に取り組む環境産業を構築していた。

PCB処理施設は住民の反対を受けながら北陸・東北・北関東15県の依頼を受け建設された。平成20年稼働、特措法で平成28年3月までだが、まだかなりのPCBが残っているためプラズマ核融合という新しい施設を作る。山形県もお願いしているが、PCB処理に対する理解を深めてもらいたいとの事でした。

（委員長 板垣致江子）



## 文教厚生常任委員会 学校林現地視察

当委員会は、7月30日吉野中学校学校林間伐被害の現地調査を行いました。

この学校林は、樹齢約60年の唐松で、面積14,876㎡に648本植栽していた。現在は、残存樹242本で被害伐採木は406本である。

当局は、平成21年10月9日南陽警察署に、学校林間伐に関する被害届を犯人不詳として提出した。その後進展が見られないため、当委員会独自に関係職員等の同行を求め現地調査を行ったもの。

現地は、小滝わらび園を見渡せる平坦な場所であった。直径60cm位の切株が多数あり、誰が見ても間伐とは言い難く、主伐と思える状況であった。細く生長の悪い樹木が残っていたが、林の中はスケスケ状態で強風のためか倒木樹も出ていた。

本件は、平成20年度で閉校する吉野中学校の学校林を、今後管理しやすく、将来に美林を残すためとして間伐作業協議書が平成20年

12月17日小滝区長名で提出された。翌日市長名で唐松約250本の間伐同意書が出された。同日、吉野中学校長と地元業者で、学校林間伐契約書が結ばれた。翌々日20日には、その業者と米沢の専門業者で再契約が結ばれた。平成21年5月地区民よりの通報で調査したが、事前協議書と大きく異なることから調査を進めていたとの報告を受けた。

本件は、昨年9月議会決算特別委員会で議員の質問にて表面化したものであるが、今回所管委員会として詳細を把握致しました。

（委員長 田中 貞一）



学校林現地調査

## 置賜広域行政事務 組合臨時議会報告

7月26日臨時議会が開催され、副議長の選挙、報告2件、承認1件、他3件が上程されすべて可決承認されました。その中で主な可決、承認事項は次の通りです。

### ◎副議長の選挙

伊藤俊美氏当選

### ◎電算共同処理事業費

平成21年度の業務委託料を精算するとともに、千代田クリーンセンターの電力売払収入及び電気料の確定に伴い余熱利用施設整備基金積立金等を補正したものである。

◎置込事務組合職員の育児休業等勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

本案は、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉、育児休業等に関する法律の一部改正に伴う所要の改正を行うため提案するものです。

### ◎消防広域化に関する支援についての意見書提出

米沢、南陽、高島、川西の二市二町の消防広域化を実現し、住民

の安心、安全を守り、かつ広域消防体制の基盤整備事業に対する、財政支援の拡充と、対応についての意見書提出を決定しました。

### ◎報告事項

- ・平成21年度置賜広域行政事務組合一般会計継続費繰越計算の報告
- ・平成21年度置賜広域行政事務組合一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

(置込議員 高橋 弘)



置賜スポーツ交流プラザ「湯るっと」

## 山形県市議会議長会議員研修会

8月12日、山形国際交流プラザ「ビックウイング」において議員研修会が開催されました。

県内各市の議員が出席、南陽市議会から15名の議員が参加致しました。

講演会の講師には共同通信社人事部長の橋詰邦弘氏を招き「菅政権のゆくえ」と題しての講演を聴きました。

民主党代表選を控えての菅政権の動きや小沢さんの動向。党員サポーターがどのような判断を下すのか等の問題山積の政局運営について、共同通信の政治部におられた先生の目線からのお話なので、興味深く聞く事が出来ました。

折しも台風が県内に上陸する日と重なったため、あわただしい一日を過ごした研修会でした。



## 議員研修会

8月20日全員協議会終了後議員研修会が開催され、講師として税理士の菅野直彦さんより公益法人制度改革のお話や貸金業法のお話を聴きました。

従来の公益法人制度に見られる様々な問題に対応するため、従来の主務官庁による公益法人の設立許可制度を改め、一般社団法人・一般財団法人を登記のみで設立できる制度が創設されるとともに、そのうちの公益目的事業を行うことを主たる目的とする法人については、民間有識者による委員会の意見に基づき公益法人に認定する制度が創設されました。また、新しい貸金業法としては、総量規制として借入残高が年収の3分の1を超える場合、新規の借入れができなくなりました。上限金利が29.2%から借入れ金額に応じて15%〜20%に引き下げられました。また貸金業者に対しては国家資格のある者(貸金業務取扱主任者)を営業所に置くことが必要である等のお話を聞きました。

## 沖郷中学校との ソフトボール親善試合

7月30日沖郷中学校ソフトボール部と市議会ソフトボール部の親善交流試合が沖郷中学校グラウンドで行われました。

毎年、女子ソフトボール部が活動している赤湯・宮内・沖郷の3中学校と、平成12年から順廻りで夏休みを利用して、親善交流試合を行っております。

親善試合では、伊藤議長が「一生懸命、怪我をしないように頑張ります」と挨拶。高橋校長が「貴重な機会を頂き生徒にも励み

になります。ともに頑張つて」と激励されました。

また、佐藤監督らから激励金、ソフトボール、スポーツドリンクを贈り部活動を支援した後、競技が開始されました。

市議会チームの先攻で5回戦が行われました。市議会チームが1回に1点を取り先取したが、沖郷中チームが2回裏に満塁ホームランやタイムリーヒットなどで一挙に8点をあげて逆転。市議会チームも1点ずつ加点したが、沖郷中チームが3回裏に4点を追加し、12対3で若さと練習量の豊富な沖郷中チームが勝利しました。

真剣にそしてハツラツとしたプレーや珍プレーの中にあつて、和やかに試合が進み、おおいに親睦交流がはられました。また、スポーツ振興の一助になれたのではないかと思われます。

市議会チームは昨年に続き敗れ、これまでの対戦成績は、7勝4敗となりました。  
(議員ソフトボール主将 松木 新一)

## 編集後記

あんなに鳴いていた蝉の声もびたりと聞こえなくなり、暑い暑いと汗を拭いていたそんな日が、懐かしくさえ思える今日この頃となりました。人の心とは関わりもななく季節は巡るんですね。9月定例会も終わり新メンバーでの2回目の発行となります。まだまだ未熟な私達です。昔で言うなら鉛筆なめながらの議会報でございます。真心こめて届けさせて頂きます。ご愛読の程よろしくお願い致します。

この議会報、皆様のお手元に届く頃は朝晩肌寒くなっているのではないのでしょうか。菊まつりも始まっていると思います。是非、足を運んで頂きたいと思えます。季節の変わり目でございます。どうかお体大切に。

委員長 川合 猛  
副委員長 梅川 信治  
委員 白鳥 雅巳  
吉田 美枝  
高橋 弘  
板垣致江子

## 平成22年9月定例会 請願審査結果表 H22.9.21

付託委員会	件名・請願者	審査結果
総務	地方財政の充実・強化を求める請願について 米沢市塩井町塩野1-1 日本労働組合総連合会 置賜地域協議会(連合置賜) 議長 金子 浩	採択
産業建設	米価の大暴落に歯止めをかけるための請願 南陽市漆山1068番地 南陽市農民連 会長 竹田 久一	採択



沖郷中学校女子ソフトボール部